

2010年度  
第3四半期決算  
Conference Call

2011年2月8日  
日本新薬株式会社



# 業績の状況（連結）

（百万円）

	2009年度		2010年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績	対前年同期比		
	売上比			売上比	増減	増減率
売上高	48,491	100.0%	46,957	100.0%	△ 1,534	△3.2%
営業利益	6,885	14.2%	3,957	8.4%	△ 2,928	△42.5%
経常利益	7,193	14.8%	4,252	9.0%	△ 2,941	△40.9%
当期純利益	4,321	8.9%	3,038	6.5%	△ 1,283	△29.7%



# 医薬品売上の内訳

	2009年度		2010年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	37,271	92.8%	37,342	96.9%	71	0.2%
工業所有権等収益	1,984	4.9%	96	0.3%	△ 1,887	△ 95.1%
フルリフロキサシン原薬	734	1.8%	982	2.5%	247	33.8%
受託製造	179	0.5%	118	0.3%	△ 61	△ 34.2%
医薬品合計	40,168	100.0%	38,538	100.0%	△ 1,630	△ 4.1%

・シアリス

(ED治療剤)

・ルナベル配合錠

(月経困難症治療剤)

等の伸長・寄与

・ハイペン

(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)

・セレクトール

(血管拡張性 $\beta_1$ 遮断薬)

等の減少



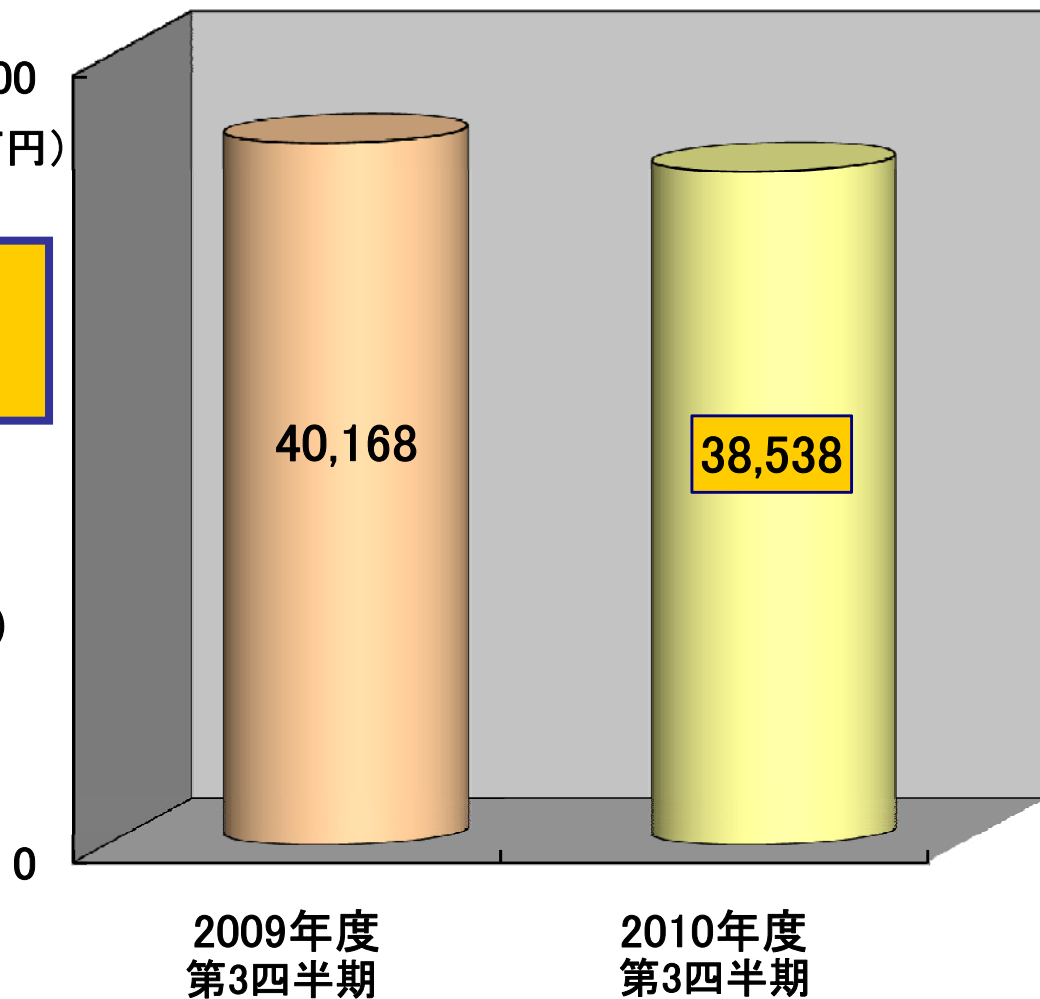
# 部門別業績推移 医薬品

**実績 38,538百万円**

対前年同期比

△1,630百万円(△4.1%)

45,000  
(百万円)





# 機能食品売上の内訳

(百万円)

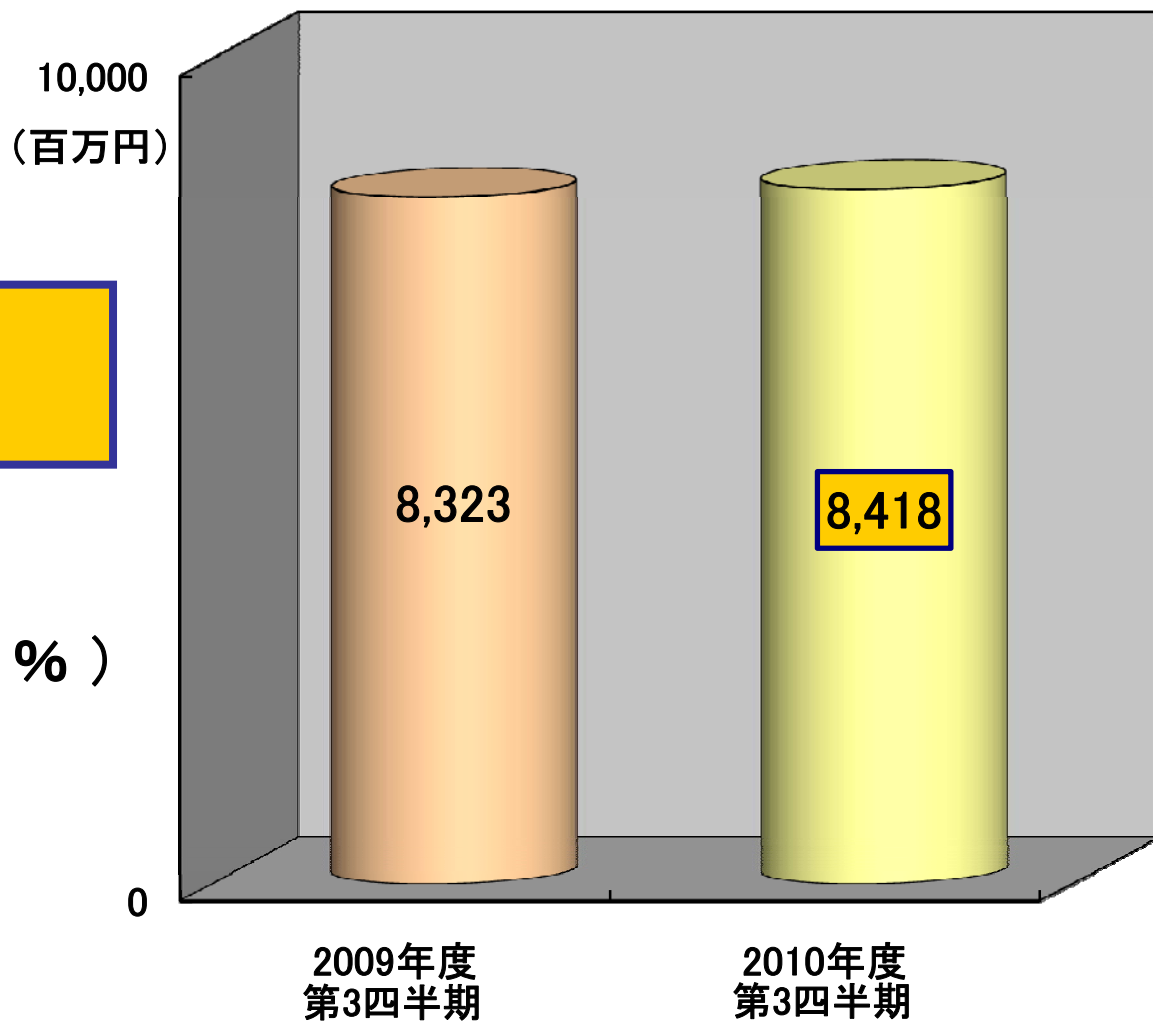
	2009年度		2010年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
健康食品素材	352	4.2%	404	4.8%	52	14.8%
品質安定保存剤	1,106	13.3%	1,173	13.9%	67	6.1%
たん白製剤	4,429	53.2%	4,533	53.9%	104	2.3%
ニュートリション素材	1,250	15.0%	1,193	14.2%	△ 57	△4.6%
その他の	1,186	14.3%	1,115	13.2%	△ 71	△6.0%
機能食品合計	8,323	100.0%	8,418	100.0%	95	1.1%



# 部門別業績推移 機能食品

実績 8,418百万円

対前年同期比  
+ 95百万円 (+ 1.1%)





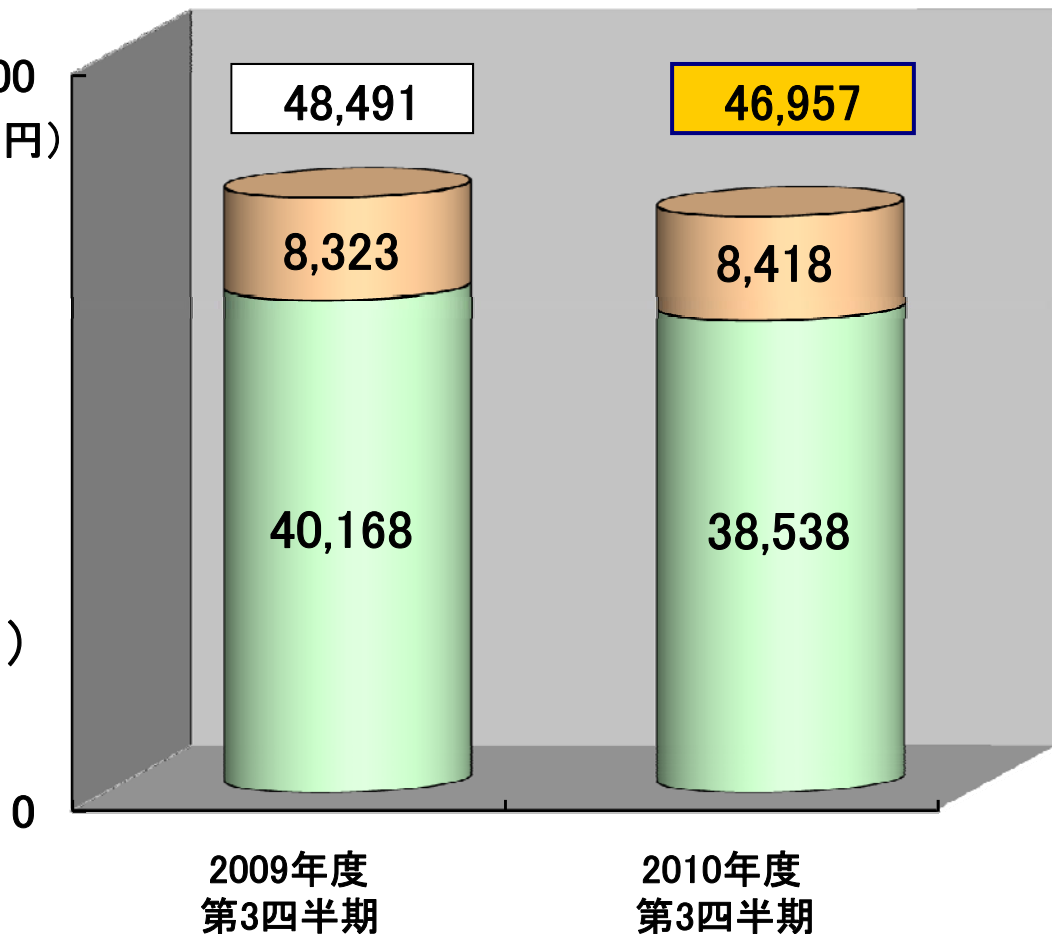
# 業績推移(連結)売上高

実績 46,957百万円

対 前年同期比

△ 1, 534百万円( △ 3. 2 % )

60,000  
(百万円)



□ 医薬品

□ 機能食品



# 損益計算書（連結）①

(百万円)

	2009年度		2010年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	48,491	100.0%	46,957	100.0%	△ 1,534	△ 3.2%
(医薬品)	(40,168)	(82.8%)	(38,538)	(82.1%)	(△ 1,630)	(△ 4.1%)
(機能食品)	(8,323)	(17.2%)	(8,418)	(17.9%)	(95)	(1.1%)
営業費用	41,606	85.8%	43,000	91.6%	1,394	3.4%
売上原価	21,404	44.1%	22,259	47.4%	855	
返品調整引当金	戻入 17	0.0%	戻入 25	0.0%	△ 8	
販売費及び一般管理費	14,246	29.4%	14,369	30.6%	123	
研究開発費	5,972	12.3%	6,395	13.6%	423	
営業利益	6,885	14.2%	3,957	8.4%	△ 2,928	△ 42.5%



# 損益計算書 (連結) ②

(百万円)

	2009年度		2010年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績	対前年同期比		
	売上比			売上比	増減	増減率
営業利益	6,885	14.2%	3,957	8.4%	△ 2,928	△42.5%
営業外収益	701	1.4%	914	1.9%	213	30.3%
営業外費用	393	0.8%	619	1.3%	226	57.6%
経常利益	7,193	14.8%	4,252	9.0%	△ 2,941	△40.9%
特別利益	206	0.4%	591	1.3%	384	186.3%
特別損失	-	-	133	0.3%	133	-
当期純利益	4,321	8.9%	3,038	6.5%	△ 1,283	△29.7%



# 財政状況（連結）

				(百万円)			
	2009年度	2010年度			2009年度	2010年度	
	期末実績	第3四半期実績	増減		期末実績	第3四半期実績	増減
資産の部	103,575	101,819	△ 1,756	負債の部	23,205	20,627	△ 2,578
（流動資産）	59,474	59,826	352	（流動負債）	14,197	12,194	△ 2,003
（固定資産）	44,101	41,993	△ 2,108	（固定負債）	9,007	8,433	△ 574
				純資産の部	80,370	81,191	821
合計	103,575	101,819	△ 1,756	合計	103,575	101,819	△ 1,756

（増加）

資産の部 : 受取手形及び売掛金  
 負債の部 : 支払手形及び買掛金  
 純資産の部 : 利益剰余金

（減少）

有価証券、投資有価証券  
 未払法人税等、未払金、賞与引当金  
 評価・換算差額等

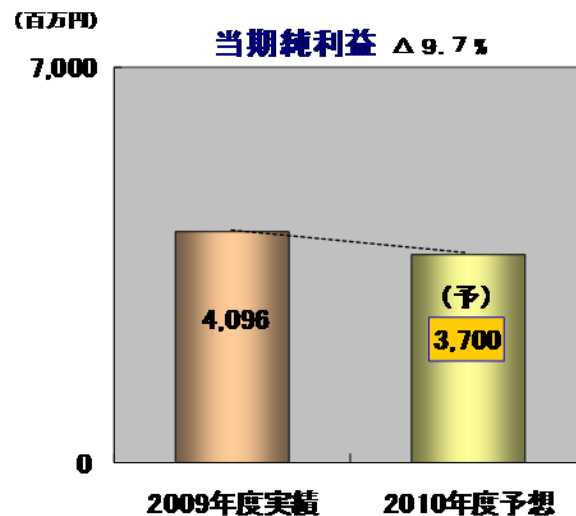
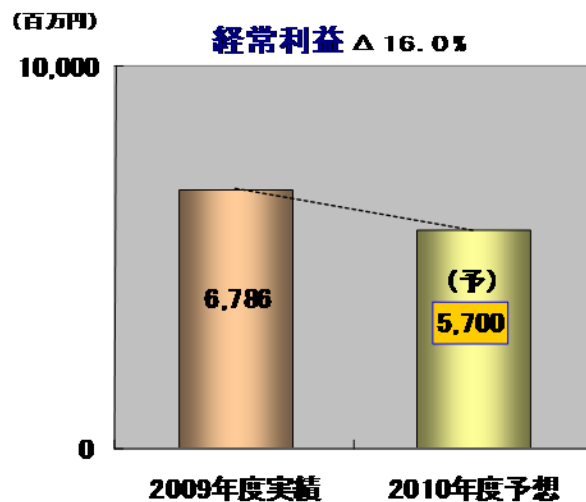
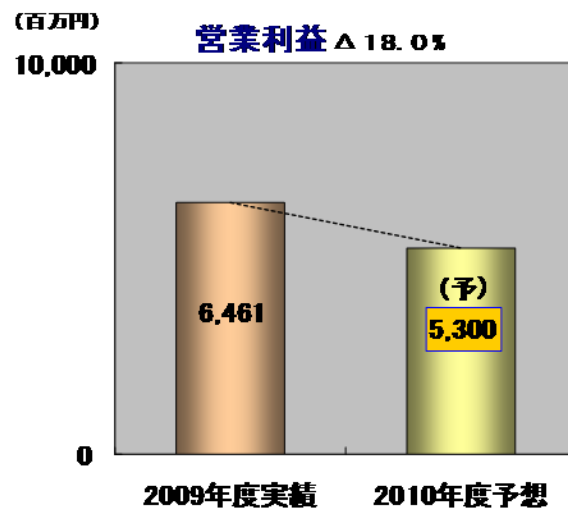
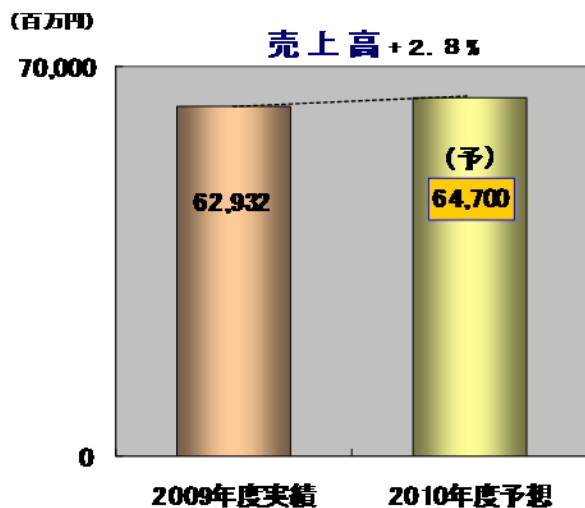


# キャッシュ・フローの状況（連結）

	(百万円)		
	2009年度 第3四半期 実績	2010年度 第3四半期 実績	2009年度 実績
営業活動による キャッシュ・フロー	2,829	△301	9,225
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,749	△2,008	△3,648
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,236	△1,300	△1,318
現金及び現金同等物の 期末残高	13,149	15,487	19,447



# 通期業績予想(連結)



# 研究開発品目の進捗状況



# 新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2008	2009	2010	2011年度
NS-17 (アザシチジン) (導入)	新成分	骨髄異形成症候群	発売 準備中	P II	申請	承認 ●	
NS-11 (アカプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症	P III	P III			申請 予定
LY450190 (タダラフィル) (導入)	新効能	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	P III	P III	日本イライリー		
NS-315 (トラマトール塩酸塩) (導入)	新効能	慢性非がん性疼痛	P III		P II	P III	
NS-304 (セレキシパグ) (自社)	新成分	慢性血栓塞栓性 肺高血圧症	P II			P II	
		肺動脈性 肺高血圧症	P II 準備中				P II 予定



# 新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2008	2009	2010	2011年度
NST-141 (自社)	新成分	アトピー性皮膚炎 に伴うそう痒	P II		P I	P II	
ACT-064992 (マシテンタン) (導入)	新成分	肺動脈性肺高血圧症	P II 準備中				P II 予定
NS-24 (トラマドール塩酸塩) (導入)	新剤型	がん疼痛 慢性非がん性疼痛	P I			P I	



# 新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2008	2009	2010	2011年度
NM441 (フルリロキサシ) (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 発売 準備中	柳韓洋行社			
			US 申請 準備中	Optimer社 PⅢ	→		
			中国 PⅢ 準備中	Lee's Pharma社			PⅢ 予定 →
NS-304 (セレキシパグ) (自社)	新成分	肺動脈性 肺高血圧症	US/EU PⅢ	Actelion社 PⅡ	→ PⅢ	→	→
NS-187 (バフェチニブ) (自社)	新成分	B細胞性慢性 リンパ性白血病	US/EU PⅡ	CytRx社		PⅡ	→
		進行性 前立腺がん	US/EU PⅡ			PⅡ	→
		慢性骨髄性白血病	US/EU PⅡ 準備中				
		多形性膠芽腫	US/EU PⅡ 準備中				



# NS-17 (アザンチジン)

## — 骨髄異形成症候群治療剤 —

**開発段階:** 2011/01 承認「ビダーザ®注射用100mg」

2011/03 薬価収載予定

**開発形態:** 国内自社

セルジーン社(米国)から導入

米国 2004/07 発売

欧州 2009/01 発売

**適応症:** 骨髄異形成症候群(MDS)

**剤型:** 凍結乾燥粉末/バイアル

(用時溶解、皮下・静脈内注射)

**特徴:** ・ DNA脱メチル化作用による正常な

細胞分化誘導

・ MDS治療の第一選択薬(米国)



# NS-315 (トラマドール塩酸塩)

— 非麻薬性鎮痛剤 —

開発段階 : PⅢ試験

開発形態 : 国内自社

グリュンター社(ドイツ)から導入  
(世界約100カ国で発売済み)

適 応 症 : 慢性非がん性疼痛

用 法 : 4回／日

特 徴 :  
・鎮痛作用強度はNSAIDsとモルヒネの中間  
・モルヒネと比べると安全性が高い  
・麻薬指定を受けていない



# NST-141

## — 抗そう痒剤 —

開発段階： **P II 試験**

開発形態： 大鵬薬品工業との共同開発

適応症： アトピー性皮膚炎に伴うそう痒

剤型： 軟膏剤

特徴：  
・抗ヒスタミン作用ではない新規作用機序  
・既存の薬剤が奏効しない難治性のそう痒  
に対しても効果が期待される

## 将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了ならびに中止、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関からの承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。